証券コード：7899

第49期 中間報告書

平成29年5月1日～平成29年10月31日

MICS化学株式会社

株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第49期第2四半期累計期間（平成29年5月1日～平成29年10月31日）の報告書をお届けするにあたり、業務の概況及び業績等についてご報告申し上げます。

本年度前半におけるビジネス環境は「営業の概況」でご説明いたします国内景気状況でした。このような状況のなか、当第2四半期累計期間の連結ベースの売上高は12億51百万円、営業利益は35百万円、経常利益は37百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円となりました。

当社グループは、クオリティ・ファースト！（製品も・業務も）をスローガンに以下の重点施策

①新たな営業戦略による内外を問わない市場開拓の実行

②原反生産から出荷までの効率的な生産体制の実現

③徹底した品質にこだわったものづくりの実現

④開発品の早期製品化と市場ニーズ吸い上げによる製品改良を含む新製品への取組み

⑤会社の継続的発展の礎となる人財の活性化

に鋭意取り組みましたが、減収減益の結果となりました。

下期においては、食品分野を攻めの姿勢で受注に注力し、新製品拡販とあわせて活動していく所存であります。

代表取締役社長
大塚茂樹

なお配当金につきましては、従来より、地道に経営基盤を強化し常に安定配当を維持しつつ、業績に裏打ちされた成果配分を行うことを基本方針としておりますので、中間配当金としては1株当たり5円とし、支払開始日を平成30年1月10日とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解をいただき、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年1月

通期の見通し

第49期（平成29年5月1日～平成30年4月30日）通期につきましては、海外における不安定な政治動向や原油価格の上昇など不安な要素はあるものの、経営環境は緩やかな回復基調が続くものと思われます。

但し、為替や原油・ナフサ価格の動向は当社経営にとって大きな変動要因ではあります。

このような状況のもと、本年度の重点施策により通期予想を達成する所存であります。

売上高	通期予想（第49期）	2,583百万円	（前期比	1.3%増）
	前期実績（第48期）	2,549百万円		
営業利益	通期予想（第49期）	114百万円	（前期比	33.7%減）
	前期実績（第48期）	171百万円		
経常利益	通期予想（第49期）	118百万円	（前期比	35.5%減）
	前期実績（第48期）	182百万円		
親会社株主に帰属する当期純利益	通期予想（第49期）	92百万円	（前期比	26.9%減）
	前期実績（第48期）	125百万円		

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外における不安定な政治動向や原油価格の上昇はあるものの、雇用・所得環境の緩やかな回復基調が続いている状況であります。

このような状況のなか、当社グループは新規顧客開拓活動を進め、特に非食品分野の開拓に注力しました。その結果、非食品分野の売上高は増加したものの、食品分野の売上高が減少したことから、売上高は12億51百万円（前年同四半期比0.1％減）となりました。

利益につきましては、原油・ナフサ市況が前年に比べて上がったことによる原材料単価の上昇と訴訟終結に伴う弁護士報酬の費用発生等により、営業利益は35百万円（前年同四半期比43.7％減）となりました。また、受取配当金等を加えた経常利益は37百万円（前年同四半期比45.5％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円（前年同四半期比22.1％減）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野は、畜農産分野や惣菜用向けは増加したものの、水産分野の大きな減少により、売上高は7億38百万円（前年同四半期比2.5％減）となりました。

非食品分野では、電子部品及び機械部品包装用が増加し、売上高は2億68百万円（前年同四半期比1.6％増）となりました。

商品等につきましては、突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）が堅調に推移したことから、売上高は2億43百万円（前年同四半期比5.8％増）となりました。

用途別売上高は次のとおりであります。

売上高の内訳

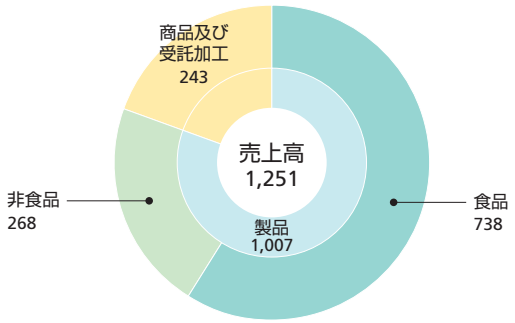
（単位：百万円）

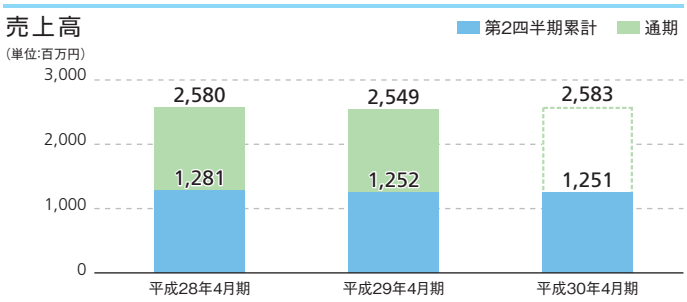
用途別		第49期第2四半期累計（自 平成29年５月１日 至 平成29年10月31日）	前年同四半期比(%)
製品	食品	738	△2.5
	非食品	268	1.6
	製品合計	1,007	△1.5
商品及び受託加工		243	5.8
合計		1,251	△0.1

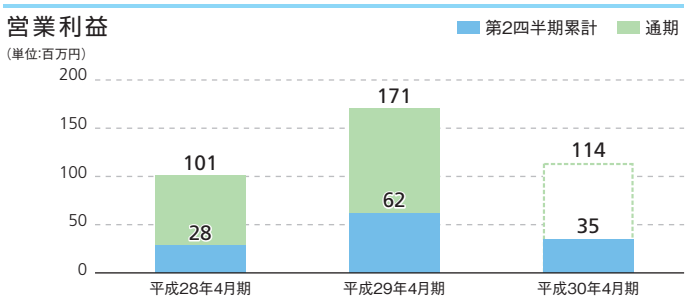
（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

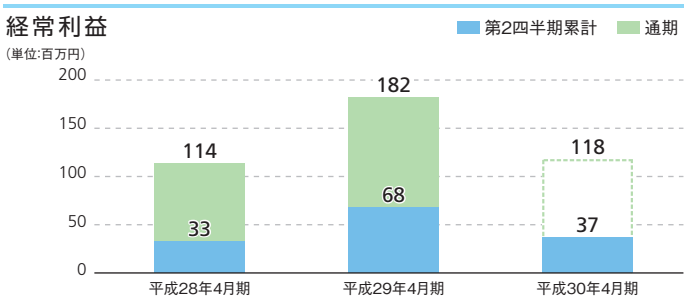
第49期第2四半期累計実績

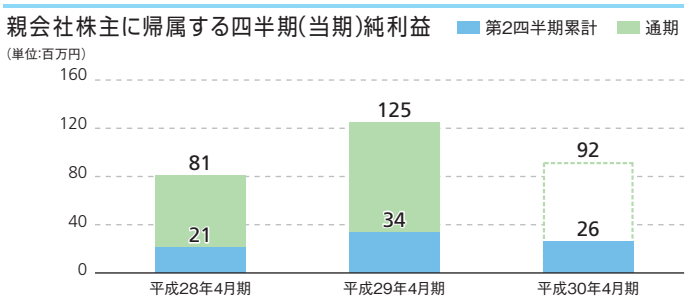
（単位：百万円）

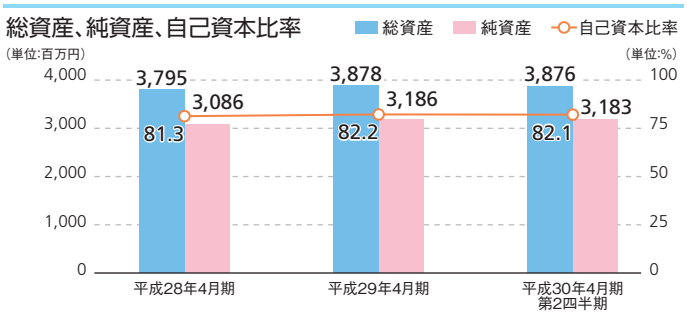


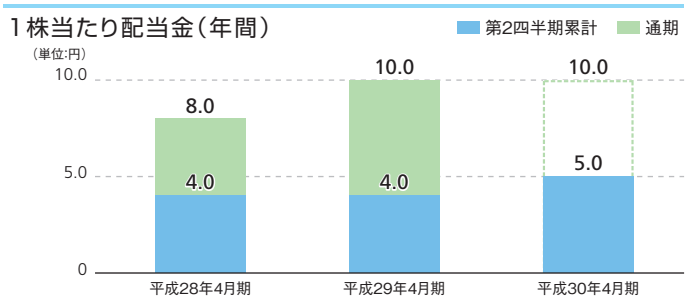






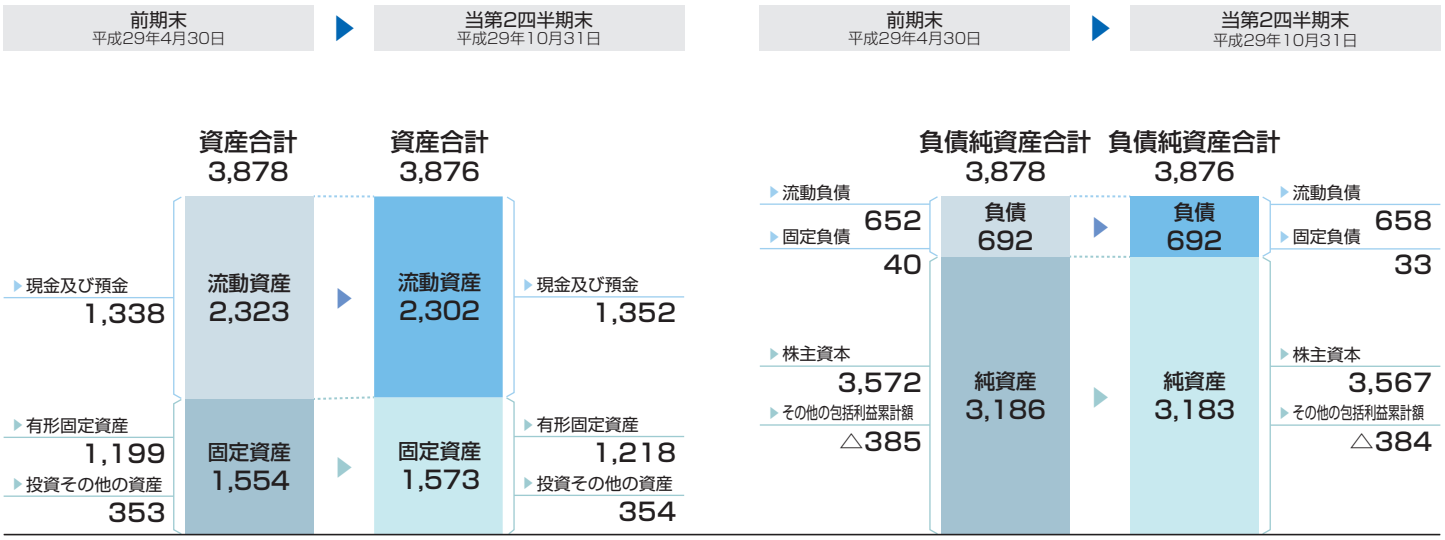






四半期連結財務諸表

連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



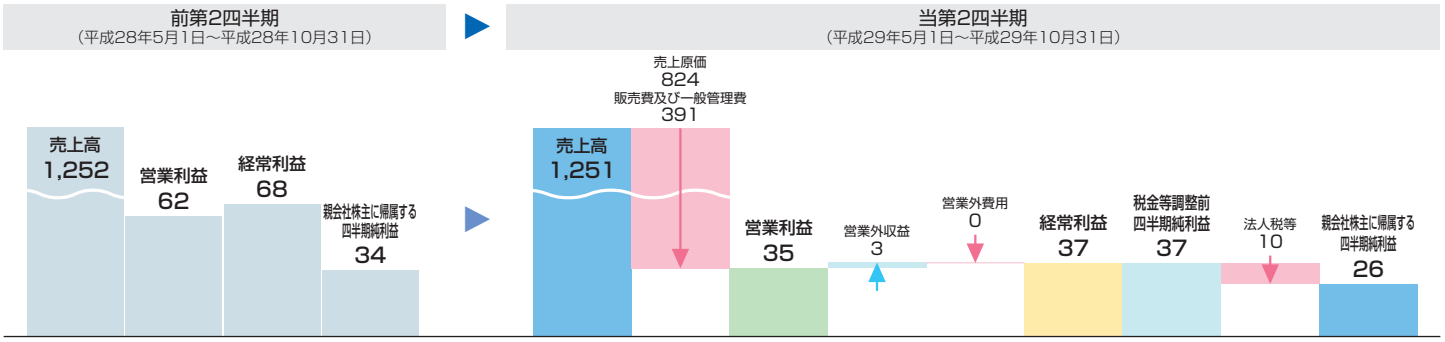
補足説明

（資　産） 当第2四半期連結会計期間末における流動資産は23億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が25百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が45百万円減少したこと等によるものであります。
固定資産は15億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具が17百万円増加したこと等によるものであります。
この結果、総資産は、38億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

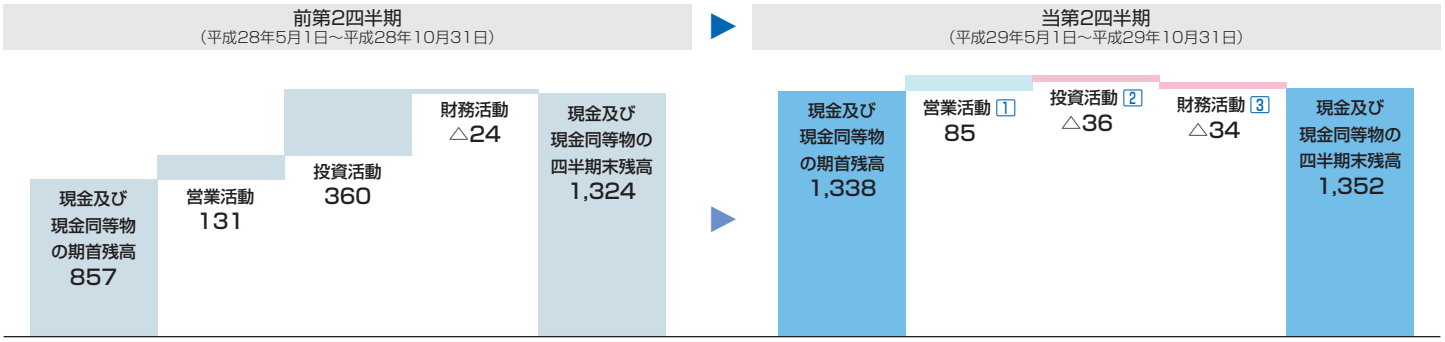
（負　債） 当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が15百万円増加したこと等によるものであります。
固定負債は33百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が4百万円減少したこと等によるものであります。
この結果、負債合計は、6億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

（純資産） 当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は31億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円を計上したものの、剰余金の配当31百万円により減少したこと等によるものであります。
この結果、自己資本比率は82.1%となりました。

連結損益計算書の概要（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要（単位：百万円）



補足説明

1 営業活動の結果得られた資金は85百万円（前年同期比35.3%減）となりました。
これは税金等調整前四半期純利益37百万円、減価償却費50百万円、売上債権の減少額60百万円等があったものの、たな卸資産の増加額38百万円、未払消費税等の減少額16百万円、法人税等の支払額29百万円等があったことによるものであります。

2 投資活動の結果使用した資金は36百万円（前年同期は3億60百万円の獲得）となりました。
これは有形固定資産の取得による支出37百万円があったことによるものであります。

3 財務活動の結果使用した資金は34百万円（前年同期は24百万円の使用）となりました。
これは配当金の支払額31百万円等があったことによるものであります。

会社の概況

（平成29年10月31日現在）

社名	MICS化学株式会社
資本金	７億74百万円
創業	昭和34年２月
従業員	82名（他に臨時雇用者13名）
主要な事業内容	多層チューブフィルムの製造、販売 ウレタンチューブフィルムの製造、販売 グラビア印刷ならびに製袋加工 シュリンクラベルフィルムの加工販売 その他合成樹脂製品の販売
本社	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158−89 電話　0561−39−1211 URL : http://www.c-mics.com/

役員　（平成30年１月９日現在）

代表取締役社長	大塚茂樹
取締役	伊藤久美
取締役	石原裕之
取締役	丸山等
取締役	伊藤聡
取締役	後藤もゆる
常勤監査役	長谷川隆
監査役	佐原司郎
監査役	中神邦彰

会計監査人　監査法人　東海会計社

事業所

札幌営業所	札幌市手稲区新発寒６条1−1−5
仙台営業所	仙台市青葉区本町1−14−18
東京営業所	東京都中央区日本橋大伝馬町17−1
名古屋営業所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158−89
大阪営業所	大阪市福島区福島1−3−11
広島営業所	広島市南区京橋町9−3
福岡営業所	福岡市博多区豊1−8−21
本社製造所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158−89
東京製造所	埼玉県越谷市小曽川字居377
札幌製造所	札幌市手稲区新発寒６条1−1−5

子会社

エイワファインプロセシング株式会社	埼玉県越谷市大間野町3−108

ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、取扱製品などに加え、IR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。
http://www.c-mics.com/

株式の状況

（平成29年10月31日現在）

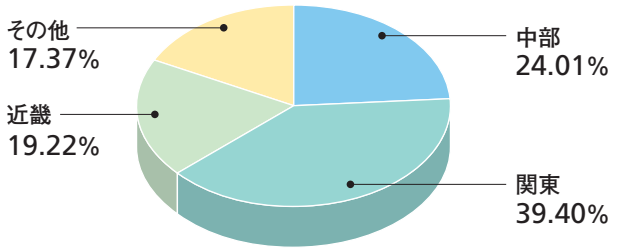
発行可能株式総数	23,850,000株
発行済株式の総数	5,850,000株（自己株式610,606株を含む）
株主数	1,670名

上位10名の株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
盛田エンタプライズ株式会社	2,608,000	49.77
名古屋中小企業投資育成株式会社	210,000	4.00
MICS化学従業員持株会	150,574	2.87
MICS化学取引先持株会	140,700	2.68
株式会社三井住友銀行	120,000	2.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	65,600	1.25
歌川勝久	65,000	1.24
伊藤公一	59,200	1.12
奥田耕三	50,000	0.95
八木英司	38,300	0.73

（注）当社は自己株式610,606株を保有しておりますが、上記からは除外しております。また、持株比率については自己株式を控除して計算しております。

地域別株主構成



株主メモ

事業年度	毎年５月１日から翌年４月30日まで
定時株主総会	毎年７月
基準日　定時株主総会 期末配当 中間配当	毎年４月30日 毎年４月30日 毎年10月31日
上場証券取引所	東京証券取引所　JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.c-mics.com/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	電話　0120−782−031（フリーダイヤル）
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。